

〈特集「アスペクト」〉

民和土族語のアスペクト Aspect in Mangghuer

風間 伸次郎
Shinjiro Kazama

東京外国語大学大学院総合国際学研究院
School of Language and Culture Studies, Tokyo University of Foreign Studies

要旨：本稿は、『語学研究所論集』第15号（2010，東京外国語大学）の特集「アスペクト」におけるアンケート項目に対する土族語民和方言のデータ，その簡単な解説およびコメントを提供する。

Abstract: This document provides Mangghuer language data for the questionnaire from the featured theme “Aspect” in the *Journal of the Institute of Language Research* No. 15 (2010, Tokyo University of Foreign Studies), along with brief explanations and comments.

DOI: <https://doi.org/10.15026/0002001051>

キーワード：シロンゴル・モンゴル諸語，民和土族語，アスペクト

Keywords: Shirongol Mongolic languages, Mangghuer, Aspect

1. はじめに

以下は塩谷 (2022: 233) による民和土族語の概要である。民和土族語とは，中国青海省民和回族土族自治県の官亭鎮を中心に居住する土族（Tuzu）によって話されるモンゴル系の無文字言語であり，言語人口は推定 1 万人余りである。土族語は，一般に互助土族自治县で話される「互助方言」（自称は Mongghul）と，民和回族土族自治县で話される「民和方言」（自称は Mangghuer）に大別されるが，両方言の差は相当に大きい。

本稿でも塩谷 (2022: 233) に倣い，「民和方言」を民話土族語と呼ぶことにする。

本稿のデータは、『語学研究所論集』第15号の特集「アスペクト」の調査項目を，漢語を媒介言語として使用し，筆者が2015年に西寧で現地調査を行った際にコンサルタントの方に民和土族語に口頭で翻訳していただき，録音したものである。コンサルタントの方は1986年民和县官亭鎮呂家村生まれの呂桂芬氏である。録音日時は2015年8月30日である。その後，筆者は2024年8月末から9月初旬に西寧を再訪し，1982年民和县官亭鮑家村生まれの鮑生榮氏の助けを借りて録音からの書き起こし及び分析を行った。

2. 音韻・文法の基本情報

以下では主に Slater (2003) に基づき，特に本稿の表記および形態素分析の理解に役立つと思われる民話土族語の音韻・文法の諸要素についてごく簡単な概要を示す。



本稿の著作権は著者が保持し，クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス (CC-BY) 下に提供します。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

まず音韻の体系は次のような諸音素からなる。なお下記の音素表記は Slater (2003) や塩谷・何 (2018) に倣い、漢語のピンインのシステムに則ったものを用いる。これは漢語からの借用語が多く、音声音韻の面でもこの地域の漢語の影響を強く受けたと考えられるこの言語を記すのに便利であるためである。

母音 /a e[ə] i[i~i~r] o u /

子音 /p t k kh[q] b d g gh[g] c[ts] ch[tʂ] q[te] z[dz] zh[dz] j[dʒ] f s sh[j] x[ɕ] h m n ng[ŋ] l r[r~z] w y /

/i/ は [i] のような発音であっても、前の子音の t, d, n などほとんど硬口蓋化しない。/i/ の母音の異音には中舌の i も聞かれるが、さらに狭めが強く摩擦を伴った [z] に近い音声も聞かれる。これは漢語の語を発音する時にも生じている。p-b, t-d, k-g, kh-gh の対立はもっぱら有気無気の対立となっている。

アクセントは基本的に語末音節にある。なおこの言語には多様な二重母音があり、その一部は祖語の短母音から二重母音化したものと考えられる。本稿のコンサルタントの発音や協力者の分析では、先行研究と異なり二重母音化していないケースが観察された。これについては下記のデータで先行研究のデータとの違いを注記した。長母音はないとされているが、やはり下記のデータでは長母音で実現したものを母音の連続として表記したケースがある。これは音韻的な意味を持たない音声的なものかもしれないことを断っておく。母音調和もないとされている。

以下には基本的な付属語と語尾を表により示す。斜字体のものは本稿のデータでは観察されなかったものである。本稿のデータにおけるグロスの多くもここで示しておく。グロスは Slater (2003) が label としているものに概ね従っているが、Leipzig glossing rules に採用されているものも考慮し、下線を付したもののについては筆者が変更した。

表 1：格を示す付属語（なお主格は無語尾である、NOM というグロスもつけないものとする）

格の名称	形式	グロス
属対格	=ni	<u>GA</u> (GEN.ACC)
与位格	=du	<u>DL</u> (DAT.LOC)
奪格	=sa	ABL
共具格	=la	INS
共格	=tai	<u>COM</u>
方向格	=ji	DIR

表 2：定動詞形語尾

	主観／客観 (perspective)	完了: <u>PFV</u>	不完了: <u>IMPF</u>	未来: FUT
直説法: IND	SUBJ	-ba	-la bi	-ni
	OBJ	-jiang	-lang	-kun(i)ang
疑問法: INTERR	SUBJ	-bu	-la biu	-nu
	OBJ	-jinu	-leinu	-kuninu

表 3：形動詞語尾・副動詞語尾

	名称（：グロス）	機能	形式
形動詞形:	完了形動詞形: PFV	完了 (perfective)	-sang
PTCP	未来形動詞形: IMPF	不完了 (imperfective)	-ku
副動詞形:	不完了副動詞形: IMPF	不完了 (imperfective)	-ji
CVB	条件副動詞形: COND	条件 (conditional)	-sa
	限界副動詞形: TERM	連続 (successive)	-tala, -tula
	目的副動詞形: <u>PURP</u>	目的 (final)	-la
	進行副動詞形: ABTEMP	進行 (progressive)	-ser
	拘束的副動詞形: DEONT	拘束的 (deontic ('should'))	-der

表 4：コピュラ（なお EQU と ATTR のグロスは対立のある否定法の場合にのみ用いることとする）

	主観／客観 (perspective)	直説法	疑問法	否定法
同定: EQU (equative)	SUBJ	bi	biu	puzhi
	OBJ	bang	beinu	puzhang
措定: ATTR (attributive)	SUBJ	bi	biu	(u)gui
	OBJ	bang	beinu	(u)guang

上記以外に用いた略号を下記に示す：INDEF: 不定，PARTIC: 小詞，PN: 固有名詞，REFL: 再帰，SFP: 文末小詞，SG: 単数，VBLZ: 動詞化，VOL: 希求法

3. データ

漢語からの借用語は斜字体により示す。下線を付した部分の分析は現時点でのものであるが，なお検討を要するものと考えている。

(1) 小王已经来了。（王さんはもう来た。）

xiaowang yijin ri-jiang.
PN already come-IND.OBJ.PFV

-jiang IND.OBJ.PFV の表記は先行研究に従い -jiang としたが，-jang でもよいと考えられる。これは漢語のピンインの j がもつばら i か u しか後続させないという表記上の特性の影響を受けているように思われるためである。つまり ji の表記が実質上 [ɟʑ] の音素表記となっている面がある。

(2) 小王已经来了。（王さんはもう来ている。）

中国語が (1) と同じであるため，調査せず。

(3) 小王还没来。（王さんはまだ来ていない。）

xiaowang han ri-sang guang.
PN yet come-PTCP.PFV be.EQU.OBJ.NEG

(4) 小王还不来。(王さんはまだ来ない.)

xiaowang *han* *lai* *ri-kunang*.
 PN yet NEG.IMPF come-IND.OBJ.FUT

(5) 小王快要来了。(王さんはもうすぐ来る.)

xiaowang *kur-ji* *ri-jiang*.
 PN reach-CVB.IMPF come-IND.OBJ.PFV

Slater (2003) と塩谷・何 (2018) のいずれも *kuer-* 「着く」としている.

(6) 小王来了。(王さんが来た.)

a, *xiaowang* *ri-jiang*.
 INTJ PN come-IND.OBJ.PFV

(7) 前天小王来了。(おととい王さんが来たよ.)

ujidur *xiaowang* *ri-jiang*.
 the.day.before.yesterday PN come-IND.OBJ.PFV

(8) 前天小王没来。(おととい王さんは来なかったよ.)

ujidur *xiaowang* *ri-sang* *guang*.
 the.day.before.yesterday PN come-PTCP.PFV be.ATTR.OBJ.NEG

(9) 我已经把那个苹果吃了。(私はあのリンゴをもう食べた.)

bi *yijin* *ti-ge* *pingguo=ni* *di-ge* *ba*.
 I already that-SG.INDEF apple=GA eat-PTCP.IMPF SFP

di-ge は [dix] と聞こえる.

(10) 我还没吃那个苹果。(私はあのリンゴをまだ食べていない.)

ti-ge *pingguo=ni* *bi* *han* *di-sang* *gui*.
 that-SG.INDEF apple=GA I yet eat-PTCP.PFV be.ATTR.SUBJ.NEG

(11) 他现在正在吃那个苹果呢。(彼は今そのリンゴを食べています／食べているところです.)

gan *niebie* *zheng* *ti-ge* *pingguo=ni* *di-lang*.
 (s)he now just that-SG.INDEF apple=GA eat-IND.OBJ.IMPF

(12) 窗户开着呢。(窓が開いている.)

chuangkuang *ni-sar* *bang*.
 window open-CVB.ABTEMP be.OBJ.IND

Slater (2003) と塩谷・何 (2018) のいずれもこの副動詞形を *-ser* としている.

(13) 我每天早上看报纸。(私は毎朝新聞を読む。／読んでいます。)

bi jaodur ganzaosheng baozhi nao-la bi.
I everyday morning newspaper read(look)-CVB.PURP be.SUBJ.IND

塩谷・何 (2018) は jiaoduer 「毎日」としている。Slater (2003) は直説法主観不完了を動詞語尾 -la とコピュラの 2 語からなるものとしているので、それにしたがって分析したが -la を目的副動詞としてよいのかはわからない。塩谷・何 (2018) は -labi IND.SBJ.IMPF としている。

(14) 你很像你妈妈。(あなたは(あなたの)お母さんに似ている。)

qi qi=ni ana-nang xidira bura-lang.
you you=GA mother-REFL resemble.CVB finish-IND.OBJ.IMPF

(15) 那个时候我每天都去学校。(私はその頃毎日学校へ通っていた。)

ti-gar shijie bi jaodur xuexiao=du xi-la bi.
that-PL period I everyday school=DL go-CVB.PURP be.SUBJ.IND

(16) 我去过北京。(私は北京に行ったことがある。)

bi beijing xi-ba.
I PN go-IND.SUBJ.PFV

(17) 公共汽车终于开了。(やっとバスは走り出した。／走り始めた。)

gonggong tiargai kai-ke bos-jiang.
bus car start-VBLZ.CVB stand-IND.OBJ.PFV

Slater (2003: 311) では -ke をもつばら漢語を動詞化する派生接辞としている。塩谷・何 (2018) では tierge 「車」, bos- 「起きる」としている。

(18) 她昨天整天都在睡觉。(きのう彼女はずっと寝ていた。)

gan chugudur yitian ntaa-jiang.
(s)he yesterday all.day sleep-IND.OBJ.PFV

塩谷・何 (2018) では enta- 「寝る」, chuguduer 「昨日」としている。

(19) 我尝了尝那个东西。(私はそれをちょっと食べてみた。)

bi ti-ge dongxi=ni ge shan-ke-ba.
I that-SG.INDEF thing=GA a.little taste-VBLZ-IND.SUB.PFV

(20) 他把那些东西分给了大家。(あの人はそれらをみんなに分け与えた。)

gan ti-gar dongxi=ni dajia=du khuba hu-jiang.
(s)he that-PL thing=GA everyone=DL divide.CVB give-IND.OBJ.PFV

khuba は [χuba] と聞こえる。

(21) 我们走（吧）！（さあ、（私たちは）行くよ！）

dasi yao-wa ba!
we go-VOL SFP

塩谷・何 (2018) では you-「行く」としている.

(22) 地球绕着太阳转。（地球は太陽の周りを回っている.）

diqu nara=ni harge-ji yao-lang.
earth sun=GA go.around-CVB.IMPF go-IND.OBJ.IMPF

(23) 那棵树看起来快要倒了。（あの木は今にも倒れそうだ.）

ti-ge beghe nao-sa
that-SG.INDEF tree see-CVB.COND

{ wuna-ji xi-lang. / wuna-ji xi-kunang. }
{ fall-CVB.IMPF go-IND.OBJ.IMPF / fall-CVB.IMPF go-IND.OBJ.FUT }

(24) 我差点儿摔倒。（私はあやうく転ぶところだった.）

bi zai diger shi, { banla xi-kunang. / banla-kunang. }
I again a.little PARTIC { fall.CVB go-IND.OBJ.FUT / fall-IND.OBJ.FUT }

banla- は漢語の絆倒 *bandao* に動詞派生接辞がついたものと考える.

(25) 明天要来客人，我去买点儿面包。（明日お客が来るので，パンを買っておく.）

mugaashi kun ri-gunang, bi mianbao diger dur-la xi-a.
tomorrow person come-IND.OBJ.FUT I bread a.little buy-CVB.PURP go-VOL

塩谷・何 (2018) では kong「人」, deger「ちょっと」としている.

(26) 我去西宁的时候买了这个袋子。（私は西寧に行った時，この袋を買った.）

bi xining=du xi-sang shijie, ni-ge kuabar=ni dur-ba.
I PN=DL go-PTCP.PFV period this-SG.INDEF bag=GA buy-IND.SUB.PFV

(27) 我知道他在市场买了这个袋子。（私は彼が市場でこの袋を買ったのを知っていた.）

bi meidie-lang, gan shichang-sa ni-ge kuabar=ni dur-jiang.
I know-IND.OBJ.IMPF (s)he market-ABL this-SG.INDEF bag=GA buy-IND.OBJ.PFV

参考文献

Slater, Keith W. (2003) Mangghuer. In Juha Janhunen (ed.), *The Mongolic languages*. 307-324. London and New York: Routledge.

塩谷茂樹 (2022) 「民和土族語の述語形式に関する初歩的研究：モンゴル語族内の位置づけと主観・客観形式の弁別をめぐって」『言語文化研究』48: 229-248.

塩谷茂樹・何菊紅 (2018) 『土族語文法』東京外国語大学アジアアフリカ言語文化研究所言語研修テキスト

執筆者連絡先：kazamas@tufts.ac.jp

原稿受理：2024 年 12 月 21 日